



浮羽中学校通信

自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成
【重点目標】～自信をもって何事にも取り組む生徒の育成～

うきは市立浮羽中学校
第 13 号

令和8年1月21日 発行
文責 校長 竹並俊和

自ら動き、確かな『実感』を掴み取る三学期に

～『気づき、考え、行動する』のその先へ～

新年あけましておめでとうございます。令和8年の幕開けとともに、学校に生徒たちの明るい声が戻ってきました。保護者・地域の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は2学期の終業式、生徒たちに「自ら気づき、考え、行動する」ことの大切さを伝えました。今学期はその「自立」の姿勢をさらに一歩進め、生徒一人ひとりが「この学校でよかった」という確かな実感を得られる学期にしたいと考えています。

冬休み中、生徒会執行部のリーダー研修を行いました。そこで彼らは「自分たちの手でどんな学校を創りたいか」を真剣に語り合いました。現状の課題を直視し、全校生徒が心から満足できる「心のゴール」を描き出そうとする姿に、私は力強い頼もしさを感じました。彼らが語った現在の浮羽中の良さや課題、そして、その背景について考え、意見を発表してくれました。その言葉からは、学校を自分たちの手で良くしていこうとする強い覚悟の表れを感じました。

3学期は、3年生にとっては進路と卒業、1・2年生にとっては次年度への準備という、極めて重要な期間です。生徒たちが自らの手で未来を切り拓き、充実した「実感」を掴み取れるよう、教職員一同、伴走者として全力で支援してまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



【 始業式後の生徒会執行部紹介、と生徒会長の話 】

「この学校でよかった」という実感を ～始業式と生徒会研修で見えた成長～

1月8日、第3学期の始業式を行いました。式に臨む生徒たちの引き締まった表情、そして冬休み中に部活動等で交わした元気な挨拶から、それぞれが自分を律して充実した冬を過ごしてきたことが伝わってきました。

式辞の中で、私は生徒たちに一つの問いを投げかけました。それは、冬休み中に自分自身で決めて動いた「自立」の種があったかどうかです。家庭での役割に気づいて動いたこと、学習の弱点に向き合ったこと。それら小さな「行動」の積み重ねこそが、確かな自信へと繋がります。

特に本校の希望を感じさせたのは、冬休み中に行った生徒会リーダー研修での一幕です。生徒会執行部の生徒たちは今の学校の良さや課題を「漢字一文字」で表現し、自分たちの居場所をどう「更新」していくかを議論しました。彼らが大切にしていたのは、活動の目標以上に、全校生徒が学年末にどう「感じていたいか」という『心のゴール』の視点です。「仲間と繋がっていると実感できる学校」。その理想を自分たちの言葉で語るリーダーたちの眼差しには、主体的に未来を創る力が宿っていました。

3学期はわずか50日余りですが、これまでの学びを「実感」へと変える貴重な時間です。3年生が母校への誇りを胸に刻み、1・2年生が新しい学校の顔としての自覚を育めるよう、日々の教育活動に邁進してまいります。生徒たちが掴み取る「達成感」を、ぜひ温かく見守っていただければ幸いです。1学期の体育祭、2学期の文化祭で見せてくれたあの主体性を、学校行事の中だけでなく、日々の生活や学習、そして家庭生活でも発揮してほしいと願っています。始業式で再会した生徒たちの表情からは、それぞれが新しい目標を胸に、自分を律して冬を過ごしてきた充実感が伝わってきました。



【 生徒会リーダー研修の様子 於 生徒会室 】

第3回「自分で作る My 弁当の日」を終えて

1月26日(月)から30日(金)は「全国学校給食週間」です。本校でもこの期間を給食週間とし、食への理解を深める様々な取り組みを行う予定です。26日(月)には給食感謝式を行い、全校生徒で給食に携わっていただいている調理員さん方へ感謝の気持ちを伝える予定です。また、今年度3回目となる「自分で作る My 弁当の日」を1月16日(金)に実施しました。この活動は、献立作りから買い物、調理、片付けまでを生徒自身が行うものです。今年度は「自分でつくる」「うきは産でつくる」に続き、今回は「感謝の気持ちを込めた弁当」をテーマに掲げました。当日のランチルームでは、色とりどりの力作を前に、達成感に満ちた生徒たちの笑顔が溢れていました。「作ることの大変さがわかった」「家族が喜んでくれて嬉しかった」という生徒の感想からは、食事を支えてくれる家族や調理員さんへの感謝の心が育っていることを実感します。また、自分で食事を作る力(自炊力)を培うことは、将来の自立に向けた大切な一歩でもあります。

お弁当づくりを通じた家族間のコミュニケーションは、何よりの食育です。ご家庭での温かいご協力に心より感謝申し上げます。この経験が、生徒たちの中に豊かな「感謝の心」を育むきっかけとなることを願っています。



【 お弁当の日のランチルームでの様子 】

地域に貢献する創造力 — フードバンク・ロゴデザイン表彰 —

このたび、うきは市社会福祉協議会が主催した「フードバンクうきたべる」のロゴデザインコンテストにおいて、本校から2名の生徒が見事に入賞を果たしました。フードバンクとは、まだ食べられる食品を募り、支援を必要とする方々へ届ける活動です。この大切な取り組みを象徴するロゴとして、市内2校の中学校から多数の応募がある中、本校からは3年生の綾部夏希さんと、2年生の野上優愛さんが揃って「優秀賞」を受賞しました。

11月20日に行われた表彰式では、自分の作品に込めた思いを堂々と語る姿が印象的でした。自分たちのデザインが地域の福祉活動の力になるということは、大変名誉なことであり、素晴らしい社会貢献です。ご紹介が遅くなりましたが、地域の課題を自分事として捉え、感性豊かに表現した二人の努力を心から讃えたいと思います。おめでとうございます！



【入賞した市内4名の中学生】

【重要】生徒の安全確保と駐車場利用についてのお願い

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。本日は、生徒の登下校時の安全確保について、改めて皆さまに大切なお願いがございます。現在、学校に隣接する東側駐車場を生徒送迎の際の乗降場所としてご利用いただいておりますが、近隣の方や保護者の方より「入り口から逆走して出ていく車があり、大変危険である」との声が寄せられています。特に、西側入り口から進入し、そのまま西側から出ようとされるケース及び東側出口を右折される方が見受けられるようです。事故を未然に防ぎ、周辺住民の皆さまへのご迷惑を避けるため、以下のルールを今一度徹底していただきますようお願い申し上げます。

- 一方通行の徹底：西側入り口から入り、東側出口へ抜ける一方通行を守ってください。
- 出口での左折制限：出口では左折のみとし、国道(バイパス)または旧国道へ合流してください。

ご家族(お祖父様やお祖母様など)が送迎を担当される際にも、このルールが共有されておらず、危険な状況が

生じている場合がございます。大きな事故につながってからは取り返しがつきません。子どもたちの安全を第一に考え適切な駐車場の利用について、各ご家庭で必ずご確認をお願いいたします。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

